

沖永良部島の動詞の活用

中本, 正智

(出版者 / Publisher)

法政大学沖縄文化研究所

(雑誌名 / Journal or Publication Title)

琉球の方言

(巻 / Volume)

7

(開始ページ / Start Page)

64

(終了ページ / End Page)

67

(発行年 / Year)

1982-11-05

(URL)

<https://doi.org/10.15002/00012733>

沖永良部島の動詞の活用

中 本 正 智

(1) 「書く」の活用

手々知名(町田実氏, 47歳)動詞の「書く」の活用を調べたところ, 次のようであった。

hatjun (書く) 終止形にあたるが, 普通の会話で発せられることは少ない。

haka: (書こう)

hakan (書かない)

hatji bufan (書きたい)

hakuna (書くな)

hakija jukkwan (書けばよい)

hakiwa jukkwan (書けばよい)ともいう。

命令の意に, hakija もしくは hakiwa を用いることがない。

haki (書く)

hatjunu tʃʉ: (書く人)

hatju je (書くか)

hatju mi という表現はない。

hatjan (書いた)

hatji ʔan (書いてある)

hatje: (書いたか)

hatjun (書いている)

hatji mʔen (書いていらっしゃる)

hatjabun (書きます)

補助動詞の mʔen (いらっしゃる) や助動詞の bun (侍り居り) があるところは, 沖縄方言に通じるところである。

知名町(川畑吉雄氏, 37歳)について, 動詞「書く」の活用を調べたところ, 次の形を得た。

hakjun (書く) 第2拍が tʃu にならないところは, 古形をとどめていると判断される。この形は終止形であるが, 会話に用いることはほとんどない。

haka: (書こう)

hakan (書かない)

haki bufan (書きたい)

hakuna (書くな)

hakja: jukkwan (書けばよい)

haki (書け)

hakjunu tʃʉ: (書く人)

hakjunnja (書くな)

mi によって疑問を表わすことがない。

hakju je (書くか)

hatjan̄ (書いた)

hatjan̄ (書いてある)

アクセントによって意味が異なる。尾高の hatjan̄ は「書いた」の意となり, 中高型の hatjan̄ は「書いてある」の意となる。

hatjun (書いている)

hatji je: (書いたか)

hatji men (書いていらっしゃる)

hakjabun (書きます)

bun は「侍り居り」にある形である。

知名町の「遊ぶ」を調べてみたところ、次のようであった。

?afiba: (遊ぶ)
 ?afiban (遊ばない)
 ?afibi bufa (遊びたい)
 ?afibuna (遊ぶな)
 ?afibiwa jukwannu (遊べばよい)
 ?afibja: jukwannu ともいう。
 ?afibi (遊べ)
 ?afibjunu tju: (遊ぶ人)
 ?afidan (遊んだ)
 ?afidi ?a: saja (遊んであるね)
 ?afidun (遊んでいる)
 ?afidi m?en (遊んでおられる)
 ?afibinfo: ri (お遊びください)
 ?afibjabun (遊びます)

同じく、「着る」を調べてみると、次のようであった。

kja: (着よう)
 kjan (着ない)
 ki: bufa (着たい)
 kinna (着るな)
 kja: jukwannu (着ればよい)
 ki: (着よ)
 kju: nu tju: (着る人)
 kjunnja (着るか)
 kitfan̄ (着た)
 jitfan̄ (着てある)
 kitfun (着ている)

上城(カミジロ)方言の動詞の活用は、次のようである。

	書 く	漕ぐ	読 む
終止形	hakjum	φugjum	jumjum
志向形	haka	φuga	juma
否定形	hakam	φugam	jumam
連用形 (~タイ)	haki bufa	φugi bufa	jumi bufa
(~テ)	hatji	φudzi	judi
禁止形	hakuna	φuguna	jumuna
条件形	hakja:	φugja:	jumja:
命令形	haki	φugi	jumi
連体形 (人)	hakjunu tju	φugjunu tju	jumjunu tju
過去形	hatjam	φudzam	judam

「起こす」「取る」「待つ」は、次のようである。

	起こす	取る	待つ
終止形	?u: sum	tujum	matsum
志向形	?u: sa	tura	mata
否定形	?u: sam	turam	matam
連用形 (~タイ) (~テ)	?u: si tji	tui tuti	matji matji
禁止形	?u: suna	tunna	matuna
条件形	?u: sa:	turja:	matja:
命令形	?u: si	turi	mati
連体形	?u: sunu	tujunu	matjunu
過去形	?u: tjam	tutam	matjam

「笑う」「言う」は次のようである。

	笑 う	言う
終止形	warojum	?jum
志向形	warora	?ja:
否定形	waroram	?ja: m
連用形 (タイ) (テ)	waroi waroti	?i: ?itji
禁止形	waronna	?inna

条件形	warorja:	?ja:
命令形	warori	?i:
連体形	warojunu	?ju: nu
過去形	warotam	?itʃam

「行く」「死ぬ」は次のようである。

行く 死ぬ

終止形	?ikjum	ʃinjum
志向形	?ika	ʃina
否定形	?ikam	ʃinam
連用形 (タイ) (テ)	?iki ?idʒi	ʃini ʃidʒi
禁止形	?ikuna	ʃinuna
条件形	?ikja:	ʃinja:
命令形	?iki	ʃini
連体形	?ikjunu	ʃinjunu
過去形	?idʒam	ʃidʒa

「出る」「着る」「見る」は次のようである。

出る 着る 見る

終止形	?idʒijum	k?ju:m	mju:m
志向形	?idʒira	k?ja:	mja:
否定形	?idʒiram	k?ja:m	mja:m
連用形 (タイ) (テ)	?idʒi ?idʒiti	k?i: k?itʃi	mi: mitʃi
禁止形	?idʒinna	k?inna	minna
条件形	?idʒirja:	k?ja:	mja:
命令形	?idʒi:	k?i:	mi:
連体形	?idʒijunu	k?ju: nu	mju: nu
過去形	?idʒitam	k?itʃam	mitʃam

「受ける」「当てる」「起きる」については次のようである。

受ける 当てる 起きる

終止形	?ukijum	?atijum	?uijum
-----	---------	---------	--------

志向形	?ukira	?atira	?uira
否定形	?ukiram	?atiram	?uiram
連用形 (タイ) (テ)	?uki ?ukiti	?ati ?atiti	?ui ?uiti
禁止形	?ukinna	?atina	?uinna
条件形	?ukirja:	?atirja	?uirja:
命令形	?ukiri	?atiri	?uiri
連体形	?ukijunu	?atijunu	?uijunu
過去形	?ukitam	?atitam	?uitam

「為る」「来る」は次のようである。

為る 来る

終止形	ʃu:m	kju:m
志向形	ʃira	ʃu:
否定形	ʃiram	ʃu:m
連用形 (タイ) (テ)	ʃi: ʃi	ki: kitʃi
禁止形	ʃinna	kunna
条件形	ʃirja:	kurja:
命令形	ʃiri	ʃu:
連体形	ʃu: nu	kju: nu
過去形	ʃa:m	kitʃam

沖永良部島の集落名

沖永良部島の集落名を、手々知名と知名町の方言で記せば、次のようである。

	手々知名	知名
山	花	digi
国	頭	kundʒe
喜美留		kibiru
西	原	nifibaru
和	泊	wadumai
伊	延	junubi

畦	布	ʔadʒiɸu	ʔadʒiɸu
和		wa	wa
玉	城	nʔja:tu	nja:tu
根	折	njui	njui
永	嶺	nagani	nagani
内	城	gusuku	gusuku
瀬	名	ʃinja	ʃinja
谷	山	nʔja:ɕa	nja:ɕa
大	城	ɸu:gusuku	ɸu:gusuku
皆	川	nʔja:gu	nja:gu
古	里	satu	satu
手々	知名	ʔakatadʒi	
上手	々知名	ti:tʃa	
後	蘭	guraru	guraru
赤	嶺	ʔa:ni	ʔa:ni
竿	津	so:dʒi	so:di
久	志 檢	gufitʃinu	gufikinu
上	平 川	ɕo:	ɕo:
下	平 川	juʃitʃa	juʃikja
余	多	ʔamata	ʔamata
屋	者	ja:dʒa	ja:dʒa
芦	清 良	ʔaʃitʃura	ʔaʃikira
黒	貫	kunudʒi	kunugi
瀬	利 覚	dʒi:tʃo	dʒikkjo
小	米	ɸugumi	ɸugumi
知	名	tʃina	tʃinnja
屋	子 母	jo:mu	jo:mu
大	津 勘	ɸutʃikanu	ɸutʃikanu
徳	時	tudutʃi	tuduki
住	吉	ʃimadʒi	ʃimadʒi
正	名	masana	masana
田	皆	tannja	tannja
上	城	nifimi	nifimi
下	城	ʃimbaru	ʃimbaru